

# 原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン  
アクション岡山実行委員会

NO. 46  
2013.08.02

祝50回行動

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：[okakenro@mx1.tiki.ne.jp](mailto:okakenro@mx1.tiki.ne.jp)

電話：086-221-0133 fax：086-221-3595

地元10委員に原発マネー6800万円 4道県再稼働に向け審査中

原発再稼働の前提となる新規規制基準への適合性の審査を受けている電力4社6原発の内、5原発がある4道県の安全審査の委員10人が、電力会社や核燃料会社などから少なくとも約6800万円の原発マネーを受けている事が1日、赤旗の調べで分かりました。

情報公開資料や原子力規制委員への自己申告書などで、2006～11年にかけて委員への業界からの寄付の実態調査で明らかになりました。(8/2 赤旗)

福島第1原発 トンネル内高濃度汚染水 セシウム9億5000万ベクレル

東電は、福島第1原発2号機タービン建屋の東から海に延びるトンネルの立て抗で7月31日に採取した水から放射性セシウムを1リットル当たり9億5千万Bq検出したと発表しました。(赤旗)

東電 地下水位上昇を報告せず

東京電力福島第1原発(福島県大熊町、双葉町)から高濃度の放射性物質を含んだ地下水が海洋に流出している問題で、原子力規制委員会は31日の定例会に上昇していることを知りながら、規制委員会に情報提供しなかったとして「極めて遺憾」と批判しました。

このデータは、汚染された地下水の分布を推定するうえで重要な値です。

29日午前に開かれた規制委員会の福島第1原発の廃炉までの過程を監視・評価する検討会で、2～2.5リットルという以前の地下水位を前提に汚染範囲の推定が示されました。しかし、東電はその日の夕方の会見で地下水位が2.8リットルに上昇したと発表。検討会に出席していた東電の担当者が新しいデータを認識していたにも拘わらず、報告はなかったと指摘しました。(8/1 赤旗)

セシウム吸着装置停止

東京電力は福島第1原発で、7月30日午後9時53分ごろに第2セシウム吸着装置のポンプで警報が発生し、運転が停止したと発表しました。この装置は、原子炉建屋、タービン建屋の地下に溜まっている大量の高濃度放射性汚染水に含まれる放射性物質を低減するため、組み上げて集中廃棄物処理施設に移送し、セシウム吸着装置、淡水化装置で処理した後、淡水化された水を原子炉に注入し、廃液をタンクに貯蔵するものです。運転は2日後としています。(8/1 赤旗)

汚染水、海に流出